



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成27年2・3月号



今月のオススメ

《君たちはどう生きるか》 著者：吉野 源三郎

中学2年生の少年“コペル君”が、学校の友達や“おじさん”とのふれあいの中で一步一步成長していく物語です。タイトルから難しそうなイメージを抱きますが、平易な文章で読みやすい本です。10代の皆さんに是非読んで欲しい一冊です。

だれもかれもが力いっぱいのにびのびと生きてゆける世の中
だれもかれも「生まれて来てよかった」と思えるような世の中
じぶんを大切にすることが同時にひとを大切にすることになる世の中
そういう世の中を来させる仕事がきみたちの行くてにまっている
大きな大きな仕事
生きがいのある仕事

吉野 源三郎（本文とびらより）

『君たちはどう生きるか』は、名作中の名作ともいわれています。戦前の1937年に書かれたものですが、読みやすいよう著者が二度にわたって改稿しています。それは、岩波少年文庫に入れる目的で、中高生向けに書かれた作品だからでしょう。彼は「岩波少年文庫の創設に尽力した人」としても有名です。岩波戦後ベスト&ロングセラー百選にも選ばれています。



余談 中2の少年“コペル”とは、もちろんあだ名です。勤のいい人は気づいたかもしれませんが、地動説を唱えたニコラウス・コペルニクスからきています。

図書室からのお願い



3年次生でまだ本を借りたままになっている人は速やかに図書室へ返して下さい。

1・2年次生についても、現在借りている本は一旦3月の終業式までに返却してください。借りた本は必ず返して、卒業式・終業式を迎えましょう。

※ 借りた本を紛失した場合は、必ず図書館司書の吉田先生まで申し出てください。



LIBRARY

～図書だより～

今年度最後の「図書だより」になります。1年間ご愛読ありがとうございました。来年度は、4月下旬に委員会編成がありますので、5月から発行していきたいと思っております。図書の購入希望等に関しては、随時受け付けておりますので、お申し出ください。

先生のおすすめ 総集編

発行月	紹介いただいた先生	タイトル・著者	生徒へ一言
5月号	吉田豊彦 校長先生	銀の匙 ⇨ 荒川 弘  (小学館)	思索と行動のためのヒント、自分で考え付かないことや経験できないことがいっぱい。少々難しいがベストセラーになった『これからの「正義」の話しよう』(マイケル・サンデル)もおすすめ。
6月号	野口智行 教頭先生	ノックの音が ⇨ 星 新一  (新潮文庫)	もし読書嫌いの生徒がいたら「あらすじ本」でも読んでみてください。「この話おもしろい、もう少し……」となればしめたものです。登場人物や風景など、できあがっているものを見るのではなく、自分の頭の中で創り上げる楽しさを味わってください。
7月号	齋藤文子 教頭先生	智恵子抄 ⇨ 高村 光太郎  (角川文庫)	多くの本に出会うことによって、経験していなくても経験したような気持ちになることができると思います。本の内容だけでなく、文章が生まれるに当たっての作者の実生活や心情を探ってみると更に面白く書物を読むことができると思います。
8月号	渡辺英和 先生	怪盗紳士 ⇨ モーリス・ルブラン  (ポプラ文庫)	文から、映像を頭の中に復元するという絶好の練習が読書です。1度はこれに頭と体を没頭させてみることをおすすめします。
10月号	遠藤孔成 先生	食品の裏側 ⇨ 安部 司  (東洋経済新報社)	読書量はその人の“人間力”に比例します。みんなには沢山の本を読んで、自分の内面を磨いていて欲しいです！
11月号	大内慎也 先生	祈りの幕が下りる時 ⇨ 東野 圭吾  (講談社)	本はね、読んだ方がいいよ。小さいころから周りの人に言われすぎて、飽き飽きしているかもしれないけれど。人と会うのと一緒です。「一期一会」ですね。
12月号	金成文健 先生	神々の沈黙 ⇨ ジュリアン・ジェインズ  (紀伊國屋書店)	簡単に説明できるようなものには、ろくなものはない。スマホのゲーム然り、SNS然り。踊らされず、プしないためにも、読書を忘れないでください。
1月号	中隅利恵 先生	ダーシェンカ ⇨ カレル・チャペック  (新潮社)	本は「翼」。時間も空間も次元も飛び越えて、あなたをさまざまな世界へいざなってくれます。たくさんの「翼」を持ってくださいね。

ご協力に感謝



掲載させていただいた先生方には、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。来年度も“先生のおすすめ”は継続していきたいと思っております。生徒の皆さんには是非、先生方のおきの一冊を読んで欲しいなあと思っております。来年度もご協力よろしくお願いたします。